

1 事業概要

事務事業名 森林資源活用推進事業		課名	林務課	事業No.	198	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる		
	分野別計画			地域経済活性化プログラム		
				21世紀環境プラン		
法令・例規等						
事業目的	対象	住宅建築主、住宅建設業者、住宅設計事務所				
	意図	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対して補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげました。 木育活動を通じて、木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図りました。		住宅の新築・リフォームに対する補助				2,853	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	飯田市産材を使って建てた住宅戸数	戸	7	10	9			
30年度 決算 (千円)	予算額	3,507	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	2,853						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	2,853						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	6	3,507	2,853	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	住宅を建てるには、多額の費用がかかり、使用する材も安価な外材や他地域の利用が多いのが現状であり、いかに木材産業振興のため地元産材の利用を進めるかが課題です。さらなる利用を進めるためには、地域産の木材利用や森林に対する理解を進める必要があります。これまでの木育活動の検証を行い、木材利用の拡大につなげる展開が必要です。								
上記の課題解決のための有効策	木材利用や森林に対する理解を進めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開し、飯田市産材利用の拡大を図る必要があります。								
次年度に向けての取り組み	木材の利用を進めるため飯田市産材を使用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。地域ぐるみによる木づかい運動を推進するため木育活動を通じて、木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図ります。								